

神戸地区からの便り



日本香料薬品株式会社社長
小野昭夫様

5月25日に14名が参加して同窓会が群愛飯店で開催された。最初に役員交代の話し合いがあり、会長の国際経済労働研究所所長である本山美彦京都大学名誉教授が、体調が十分でなく会長辞任の申し出があり、48年卒の日本香料株式会社社長の小野昭夫さんに、会長に就任していただいた。また、事務局を野尻賢司から河合良昭さんが引き継ぐことになった。

懇親会では参加者各人が近況を披露した。本山会長は「出版社が見つかるかどうかが不安なままに、『土と大豆』というタイトルで小さな本の執筆に取り掛かっています。インターネットで資料を探しているのですが、中途半端な知識なのに、断定的にモノを言う自称専門家が増えていくことに恐怖を感じています。動けない植物は、様々の物質を出して、自分の身を守る能力を持っています。」と

ころが、最近の日本でもそうですが、『ユーカー』だけは「他の植物を排除する悪者だ」との立場から、そうした専門家たちが、マスコミに自身を売り込むために、ユーカーの植樹に反対する人たちを煽っているのですね。悲しい学問事情です。」と話された。先生の興味の幅広さを感じた。

前神戸商工会議所会頭で、シスメックスの代表取締役会長の48年卒家次恒さんは卒業後就職した銀行からシスメックス社に移った経緯を振り返られると共に、現在会長を務める神戸医療産産都市機構について、阪神・淡路大震災によって大きな被害を受けた神戸経済を立て直し、人類の健康と福祉に貢献することを目的としてスタートした同機構の現状およびその果たす役割について説明され、これからも神戸を元気にしたいと抱負を語られた。

また、新会長に就かれた48年卒小野昭夫さんは16年卒の父親と一緒に始めてこの神戸地区の同窓会に参加した時のこと、そして当時も26年卒の砂野仁さんが川崎重工会長をされていたなど同窓生が神戸の経済界のリーダーとして活躍していたことを振り返られた。

また、TC神鋼不動産会長の53年卒花岡正裕さんは同社がジョイントベンチャーに参画している神戸三宮

駅前の再開発事業について説明された。また兵庫県の監査委員をも務められており、大活躍である。

ユニークな報告は、46年卒の中野正己さん、濱中英二さんの「芦屋塾年コラス」の活躍である。中野さんが団長で、4月7日(日)に創立40周年記念コンサートを開催されたとのことだ。また京大グリークラブOBの濱中さんからハーバード大学と京都大学のグリークラブのOB会が30年以上前から交流を続けているが、今年はその合唱コンサートが5月18日に広島で開催されたことの報告があった。

神戸選出の衆議院議員である井坂信彦さん(平成9年京都大学総合人

2023年度 神戸同好クラブ会計報告書

京都大学経済学部同窓会神戸同好クラブ
収支決算書 (2023.4.1~2024.3.31)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
神戸地区同窓会収入	0	神戸地区同窓会経費	0
支部活動援助金	0	通信費	0
預金利息	4	事務費	0
(小計(2023年度収入額))	4	(小計(2023年度支出額))	0
前年度繰越金	548,560	剰余金(次年度繰越金)	548,564
合計	548,564		548,564

財産目録 (2024.3.31)

種類	預入先	金額	摘要
普通預金	三井住友銀行神戸営業部	548,564	
合計		548,564	

監査報告
収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

2024年5月24日

会計監事

伊藤正一

間学部卒)はこの経済学部の同窓会に特別参加しているが、今回は国会会期中であり欠席。予算委員会・厚生労働委員会などで、社会保障、経済労働、財政を担当し大活躍。

今回の参加者の最年長は昭和38年卒片山了介さん、最年少は平成13年卒の河合良昭さんでした。インフォーマルで和気藹々とした雰囲気の中で、卒業年次を越えて懇親を深めています。

野尻賢司(昭和44年卒)